

森と湖とダムに親しむまつり

国有林の PR をしてきました

平成 28 年 7 月 23 日 (土曜日)、定山溪ダム下流園地で森と湖とダムに親しむまつりが開催されました。

この「まつり」は、今年、定山溪温泉が開湯 150 周年にあたることから、その「記念事業」と「森と湖とダムに親しむ旬間」とが融合されたものです。

定山溪観光協会を初め、地元の小中学校や町内会、北海道開発局定山溪ダム管理支所、札幌市水道局、北海道電力、NPOなどが協力し、もちろん、当石狩地域森林ふれあい推進センターも「山の日記念」と「国有林」を PR しつつ、お祭りを盛り上げました。



「森と湖とダムに親しむまつりの開催です」



「初めに段ボールで苗木を入れるポットの作成です」

当センターは、カミネッコンを使ってポット苗を作ってください定山溪ダム敷地内に植栽しました。

カミネッコンにたくさんのメッセージや好きな絵を描き、「大きく育て」と願いを込めました。



「どの木を植えようかな～」

また、定山溪中学校の生徒たちは、当センターと一緒にいる森林教室の紹介や独自に行っている調査等の成果を展示やクイズを行いながら参加者たちとふれあいながら楽しんでいました。



「家族と一緒に植えました」



「二人で力を合わせて水をやりました。」
「大きく育て！」



「みんな、いろんなメッセージや絵を描いくれました」

今回のイベントで参加者に森林のことや水のこと、ダム機能、発電のことなどについて、楽しみながらふれていただく良い機会となりました。



「定山溪ダム下流園地に植えました。」
「完成です！」